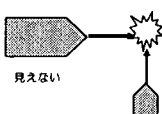
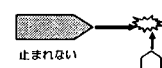
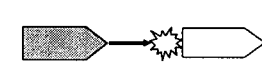
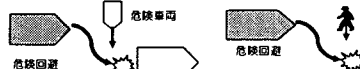
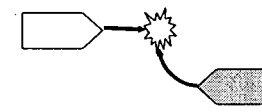
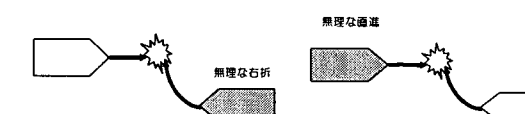
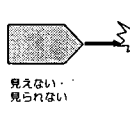


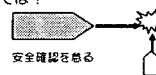
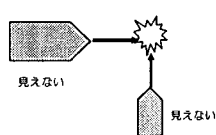
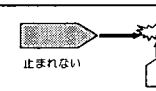
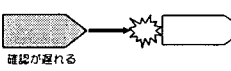
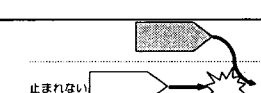
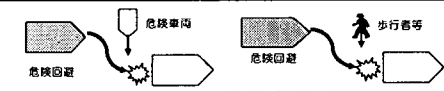
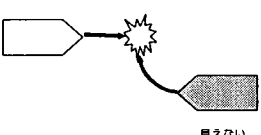
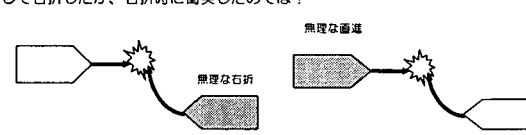
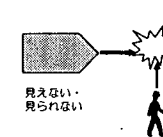
資料 1

事故要因一覽表

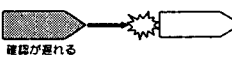
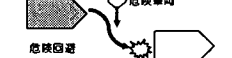
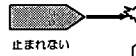
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																					
				道路的要因										交通環境的要因											
				道路線形				交差点形状						車線・幅員				付属物・構造物							
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境の チェックポイント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
				交差点前の急なカーブ	急な下り勾配	クレスト	交差点手前の長い直線区間	すみ切り半端が大きい	すみ切り半端が小さい	鋭角交差	鈍角交差	交差点形状が複雑	交差点が大きい ため、速度が出やすい	歩行者・自転車の横断距離が長い	歩行者・自転車の横断距離が長い	右左折車線が2車線以上ある	優先道路側の幅員が狭い	車線運用が変化する (直進車線が右左折車線 に重複する)	横断歩道場がある箇所で 自転車横断帯が存在	＜交差点内＞が狭く歩行者、 駐停車車両が見えにくい	中央帯の幅員等の位置、 管理が悪い	歩道上の幅員等、標識等の位置、 管理が悪い	横断歩道の位置、内容が不適切 (不明確・重複)	横断歩道の位置、内容が不適切 (不明確・重複)	右左折車と直進車が同一車線 上に混在する
出会い頭	1	安全確認の必要性を認識しなかったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	安全確認・停止・徐行が必要な箇所で、その必要性が感じられない要素はあるか？				4-5									13-5						19-5			
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1				7-1											17-1	18-1		20-1	
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭で衝突するのでは？ 	注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？									9-2											19-2		
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	前方車に対する視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1															17-1	18-1			
			注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？									9-2						15-2					19-2		
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避に間に合わず、追突するのでは？ 	本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？						6-14	7-14		9-14					14-14						19-14	21-14	22-14
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15	5-15	6-15	7-15	8-15	9-15	10-15	11-15		13-15	14-15	15-15	16-15	17-15	18-15	19-15	20-15	21-15	22-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1															17-1			20-1	
			右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？									9-2											19-2		
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	無理な右折を招く要素はあるか？										10-4											21-4	
			右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？		2-7		4-7																		
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を認識しない箇所、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？											11-13											
	2	安全確認をしようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1				7-1										16-1	17-1			20-1	
			注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？					5-2		8-2													19-2		

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コード-15)は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

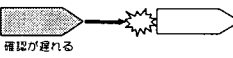
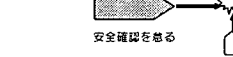
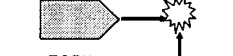
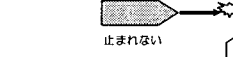
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																					
				交通環境的要因																					
				付属物 構造物	沿道環境						路面状況		信号					渋滞 滞留	その他						
事故類型	発生過程 パターン NO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境の チェックポイント	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	40	41	42	43	44	
				対向右折車の停止位置が不適切	道路側に足場物（建物、塀等）が存在する	明るい既設の道路型への侵入並び	運転者の気にする施設が存在する	が車取りの付く入りの多い沿道施設出入口や横断路	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	交差点内への沿道施設出入口	朝日、西日等の日差しのために見にくい	路面舗装が劣化している（亀裂れ、ひび等）	水はけが悪い	信号の設置位置が悪い・見えにくい	進行可能な時間が短い	クリアランス時間が短い	信号機指示の運用が理解しづらい（煩雑、時間	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	交差点が隣接している	交差点に隣接して路切が存在する	横断需要がある箇所でも横断施設がない	二輪車・自転車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停留による通行障害	
出会い頭	1	安全確認の必要性を認識しなかったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所で、その必要性が感じられない要素はあるか？							29-5	30-5									40-5	41-5				
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？ 2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？		24-1														38-1					44-1	
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭で衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？				26-2				30-2										40-2	41-2		43-2	
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対しての視認を妨げる要素はあるか？ 2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？		24-1																				
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避が間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？				26-14			29-14		31-14	32-14								40-14	41-14			44-14
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	23-15	24-15	25-15	26-15			29-15	30-15	31-15	32-15						38-15	40-15	41-15	42-15	43-15	44-15	
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？ 2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？	23-1			26-2												38-1			42-2	43-2		
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？ 7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？																						
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を認識しない箇所で、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？																38-13			42-13			
	2	安全確認をしようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？ 2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？		24-1	25-1	26-2												38-1					44-1	

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																							
				道路的要因										交通環境的要因													
				道路線形				交差点形状						車線・幅員				付属物・構造物									
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	1 交差点前の急なカーブ	2 急な長い下り勾配	3 クレスト	4 交差点手前の狭い道路区間	5 すみ切り半径が大きい	6 すみ切り半径が小さい	7 鋭角交差	8 鈍角交差	9 交差点形状が複雑	10 交差点が大きい ため、速度が出やすい	11 歩行者・自転車の横断距離が長い	12 右左折車線が2車線以上ある	13 優先道路側の幅員が狭い	14 線形・車道幅員が狭い (道路幅員が狭い)	15 在横断歩道橋がある 場所、自転車専用道がある 場所	16 交差点内が狭く歩行者、 駐停車車両が見え	17 中央帯の幅員等の位置、 管理が悪い	18 い歩道上の横断歩道、橋脚等の 位置、管理が悪い	19 明確な、道路標示の位置、 内容が不適切(不適切)	20 橋脚等の構造が不適切	21 右左折車と直進車が同一車線上に 進入する	22 右左折車線が右左折車線からみ出る	23 対向右折車の停止位置が不適切	
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対する視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1															17-1	18-1					
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？															15-2					19-2				
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避に間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？						6-14	7-14		9-14						14-14					19-14		21-14	22-14	
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15	5-15	6-15	7-15	8-15	9-15	10-15	11-15				14-15	15-15	16-15	17-15	18-15	19-15	20-15	21-15	22-15	23-15
出会い頭	1	安全確認の必要性を認識しなかったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・係行が必要な箇所 で、その必要性を感じられない要素 はあるか？				4-5																19-5				
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素は あるか？	1-1		3-1				7-1											17-1	18-1		20-1			
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																				19-2				
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭で衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																								
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素 はあるか？	1-1		3-1															17-1			20-1			23-1
			2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？									9-2											19-2				
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？																						21-4		
			7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？		2-7		4-7																				
横断歩道	1	歩行者が信号を無視して横断し、車両に衝突されるのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？											11-13													
		安全確認しようとしたが、歩行者を確認できないまま進行し、衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？			3-1														16-1	17-1	18-1		20-1			
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？					5-2		8-2	9-2	10-2											19-2				
	2		5 交差点を感じられない要素はあるか？																								
			4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																								

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

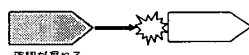
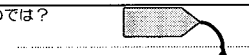
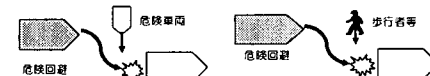
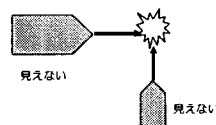
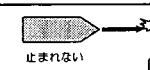
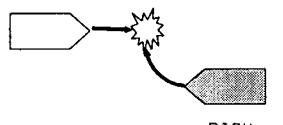
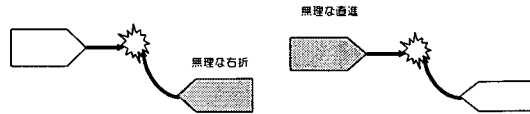
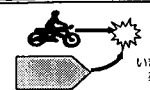
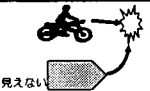
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																			
				交通環境的要因																			
				沿道環境		沿道環境						路面状況		信号					渋滞・滞留	その他			
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	40	41	42	43	44
				沿道環境に足踏地（建物・溝等）が存在する	明るい施設の道路脇への建ち並び	運転者の目にする施設が存在する	路車路の取り付く回りの多い沿道施設出入口や横断歩道	沿道施設出入口や横断歩道が不明瞭	交差点内への沿道施設出入口	朝日・西日等の日差しのために見にくい	等路面舗装が劣化している（磨耗・ひび	水はけが悪い	信号の設置位置が悪い・見えにくい	通行可能な時間が短い	クリアランス時間が短い	視覚的表示の運用が理解しづらい（摩滅・時	右左折車線が本線で減速・停止	本線が渋滞している	交差点が狭小になっている	交差点に隣接して路側が存在する	視認性がある箇所での横断歩道がない	二輪車・自転車のすり抜けがある	路上駐車やバスの停車による通行障害
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対しての視認を妨げる要素はあるか？ 2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？	24-1																			
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避が間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？			26-14		29-14			31-14	32-14		33-2					40-2	41-2			
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	26-15		29-15	30-15	31-15	32-15	33-15	34-15	35-15	36-15	37-15	38-15	40-15	41-15	42-15	43-15	44-15	
	1	安全確認の必要性を認識しなかったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所、その必要性が感じられない要素はあるか？					29-5	30-5					33-5					40-5	41-5			
出会い頭	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？ 2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？	24-1														38-1				44-1	
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭に衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？			26-2		30-2					33-2						40-2	41-2		43-2	
													34-4	35-4									
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？ 2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？											33-1				38-1					
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？ 7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？			26-2															42-2	43-2	
														34-4									
																36-7							
横断歩道	1	歩行者が信号を無視して横断し、車両に衝突されるのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？											34-13				38-13					
			1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	24-1	25-1														38-1				
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？			26-2							33-2							41-2			
	2		5 交差点を感じられない要素はあるか？																40-5				
			4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？											34-4			37-4						

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																						
				道路的要因														交通環境的要因								
				道路線形				交差点形状						車線・幅員				付属物・構造物								
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	1 交差点前の急なカーブ	2 急な長い下りの勾配	3 クレスト	4 交差点手前の長い道路区間	5 すみ切り半径が大きい	6 すみ切り半径が小さい	7 鋭角交差	8 鈍角交差	9 交差点形状が複雑	10 交差点が大きい ため、速度が出やすい	11 歩行者・自転車の横断距離が長い	12 右左折車線が2車線以上ある	13 優先道路側の幅員が狭い	14 車線変更が頻発する （通過車線が右左折車線に 変化する）	15 横断歩道線がある箇所 で自転車横断帯が存在	16 交差点内が狭く歩行者、 駐停車車両が見えにくい	17 中央部の視界等の位置、 管理が悪い	18 歩道上の視界等、看板等の 位置、管理が悪い	19 視界（視覚）の位置、内容が 不適切（不明瞭・複雑）	20 構造物等の横断帯が存在する	21 右左折車と直進車が同一車線 上に存在する	22 右左折車両が右左折車線からはみ 出る	
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対する視界を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1																18-1				
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？															15-2				19-2				
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避に間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？						6-14	7-14								14-14					19-14	21-14	22-14	
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15		6-15	7-15	8-15	9-15						14-15	15-15				18-15	19-15	20-15	21-15
出会い頭	1	安全確認の必要性を認識しなかったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所、その必要性が感じられない要素はあるか？				4-5																19-5			
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視界を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1				7-1													18-1	20-1		
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																				19-2			
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭で衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																							
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視界を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1																				
			2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？									9-2											19-2			
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？																						21-4	
			7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？		2-7		4-7																			
左折時	1	前方車の予期しない左折により、衝突するのでは？ 	6 急な左折を招く要素はあるか？								8-6												19-6			
	2	安全確認しようとしたが、確認できないまま左折し、左折時に衝突するのでは？ 	2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																							

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																				
				交通環境的要因																				
				付属物 構造物	沿道環境						路面状況		信号					渋滞 滞留	その他					
事故類型	発生過程 パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境の チェックポイント	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	40	41	42	43	44
				対向右折車の停止位置が不適切	道路脇に高樹木（建物・塀等）が存在する	明るい施設の道路照度への遮り並び	運転者の気にする施設が存在する	が車道の出入りの多い沿道施設出入口や横断路	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	交差点内への沿道施設出入口	朝日・西日等の日差しのために見にくい	路面舗装が劣化している（補修・ひび等）	水はけが悪い	信号の設置位置が悪い・見えにくい	通行可能な時間が短い	クリアランス時間が短い	（信号機） 信号機表示の運用が理解しづらい（複雑・時間）	右左折車線が本線で減速・停止	本線が渋滞している	交差点が狭小になっている	交差点に隣接して路肩が存在する	横断歩道がある箇所でも横断歩道がない	二輪車・自転車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停車による通行障害
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対しての視認を妨げる要素はあるか？		24-1																			
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？								30-2			33-2						40-2	41-2			
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避が間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？				26-14			29-14		31-14	32-14							40-14	41-14			44-14
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする		23-15	24-15		26-15			29-15	30-15	31-15	32-15	33-15	34-15	35-15	36-15		38-15	40-15	41-15	42-15	43-15
出会い頭	1	安全確認の必要性を認識しなかったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所、その必要性が感じられない要素はあるか？							29-5	30-5			33-5						40-5	41-5			
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？		24-1															38-1				44-1
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？				26-2				30-2			33-2						40-2	41-2		43-2	
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭に衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？												34-4	35-4								
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	23-1										33-1					38-1					
			2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																			42-2	43-2	
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？												34-4									
			7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？														36-7							
左折時	1	前方車の予期しない左折により、衝突するのでは？ 	6 急な左折を招く要素はあるか？							29-6														
	2	安全確認しようとしたが、確認できないまま左折し、左折時に衝突するのでは？ 	2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																				43-2	

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

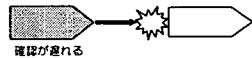
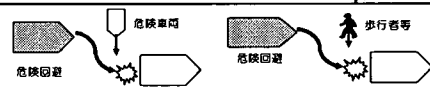
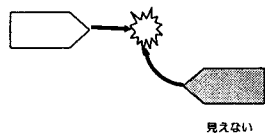
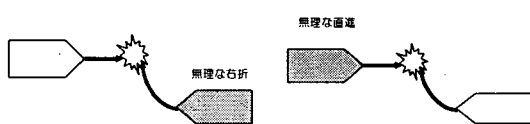
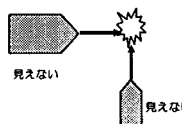
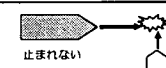
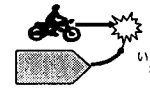
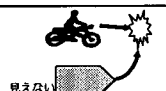
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																							
				道路的要因											交通環境的要因												
				道路線形				交差点形状							車線・幅員			付属物・構造物									
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境の チェックポイント	1 交差点前の急なカーブ	2 急な長い下り勾配	3 クレスト	4 交差点手前の長い直線区間	5 すみ切り半径が大きい	6 すみ切り半径が小さい	7 鋭角交差	8 鈍角交差	9 交差点形状が複雑	10 交差点が大きい ため、速度が出やすい	11 歩行者、自転車 の横断距離が長い	12 右左折車線が2車線以上ある	13 優先道路側の幅員が狭い	14 車線幅員が変化する (直進車線が右左折車線に狭くなる)	15 直進歩道幅員がある 箇所、自転車横断帯が 存在する	16 交差点内が暗く歩行者、 駐停車車両が見え にくい	17 中央部の植栽等の位置、 管理が悪い	18 歩道上の植栽、看板等の位置、 管理が悪い	19 明確な歩道幅員の表示、 内容が不適切(不明瞭)	20 横断歩道の構造物が存在する	21 右左折車線と直進車線が同一 車線上に存在する	22 右左折車線が右左折車線から みえる	23 対向右折車の停止位置が不適切	
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対する視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1															17-1	18-1					
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？															15-2					19-2				
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避に間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？						6-14				9-14					14-14					19-14		21-14	22-14	
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15	5-15	6-15	7-15	8-15	9-15	10-15	11-15				14-15	15-15	16-15	17-15	18-15	19-15	20-15	21-15	22-15	23-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1															17-1			20-1			23-1
			2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？										9-2										19-2				
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？											10-4											21-4		
			7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？		2-7		4-7																				
出会い頭	1	安全確認の必要性を認識しなかったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所で、その必要性が感じられない要素はあるか？				4-5																19-5				
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1				7-1											17-1	18-1		20-1			
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																				19-2				
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭に衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																								
横断歩道	1	歩行者が信号を無視して横断し、車両に衝突されるのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？											11-13													
			1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？			3-1														16-1	17-1	18-1		20-1			
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？					5-2			8-2	9-2	10-2										19-2				
	2	安全確認しようとしたが、歩行者を確認できないまま進行し、衝突するのでは？ 	5 交差点を感じられない要素はあるか？																								
			4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																								

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

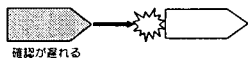
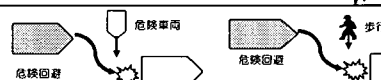
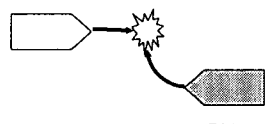
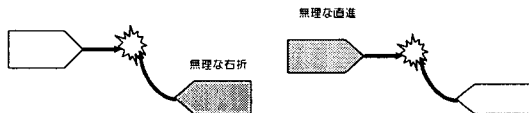
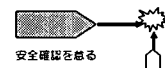
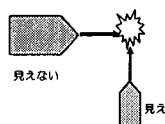
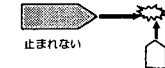
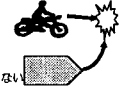
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																			
				交通環境的要因																			
				沿道環境		沿道環境						路面状況		信号						渋滞滞留	その他		
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	40	41	42	43	44
				道路線に近距離（建物、樹木等）が存在する	明るい施設の道路奥への建ち並び	運転者の気にする施設が存在する	踏切の取付出入口の多い沿道施設出入口や地帯	沿道施設出入口や踏切路が不明瞭	交差点内への沿道施設出入口	朝日・西日等の日差しのために見にくい	路面状況が劣化している（磨耗、ひびき）	水はけが悪い	信号の設置位置が悪い・見えにくい	進行可能な時間が短い	クリアランス時間が短い	信号機指示の運用が理解しづらい（複雑、時	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	交差点が渋滞している	交差点に隣接して路切が存在する	横断歩道がある箇所や横断施設がない	二輪車・自転車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停車による通行障害
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対しての視認を妨げる要素はあるか？	24-1																			
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？							30-2			33-2						40-2	41-2			
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避に間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？			26-14			29-14		31-14	32-14							40-14	41-14			44-14
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	26-15			29-15	30-15	31-15	32-15	33-15	34-15	35-15	36-15	37-15	38-15	40-15	41-15	42-15	43-15	44-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？										33-1					38-1					
			2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？			26-2															42-2	43-2	
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？											34-4									
			7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？													36-7							
出合い頭	1	安全確認の必要性を意識しなかったため、安全確認をせずに出合い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所で、その必要性が感じられない要素はあるか？						29-5	30-5			33-5						40-5	41-5			
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出合い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	24-1															38-1				44-1
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？			26-2				30-2			33-2						40-2	41-2		43-2	
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出合い頭に衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？												34-4	35-4							
横断歩道	1	歩行者が信号を無視して横断し、車両に衝突されるのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？												34-13				38-13				
			1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	24-1	25-1														38-1				
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？			26-2							33-2							41-2			
	2	安全確認しようとしたが、歩行者を確認できないまま進行し、衝突するのでは？ 	5 交差点を感じられない要素はあるか？																40-5				
			4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？												34-4			37-4					

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

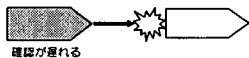
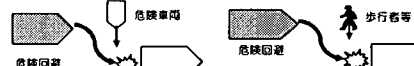
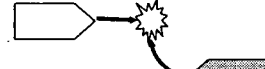
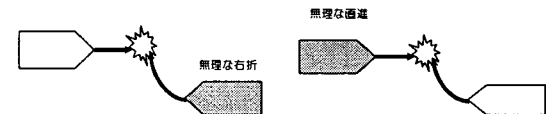
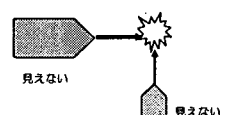
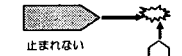
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																					
				道路的要因															交通環境的要因						
				道路線形				交差点形状							車線・幅員				付属物・構造物						
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境の チェックポイント	1 交差点前の急なカーブ	2 急な長い下り勾配	3 クレスト	4 交差点手前の長い直線区間	5 すみ切り半径が大きい	6 すみ切り半径が小さい	7 鋭角交差	8 鈍角交差	9 交差点形状が複雑	10 交差点が大きいため、速度が出やすい	11 歩行者・自転車の横断距離が長い	12 右左折車線が2車線以上ある	13 優先道路側の幅員が狭い	14 車線幅員が狭い（車線幅員が狭い）	15 横断歩道橋がある箇所、自転車の横断歩道橋が狭い	16 横断歩道橋が狭い、歩行者・駐停車車両が見えにくい	17 中央部の横断歩道の位置、管理が悪い	18 歩道上の横断歩道、横断歩道の位置、管理が悪い	19 横断歩道の位置、内容が不適切（不明・横断歩道）	20 横断歩道の位置、内容が不適切（不明・横断歩道）	21 右左折車線と直進車線が同一車線上に存在する	22 右左折車線が右左折車線からみえる
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対する視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1														17-1	18-1				
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？															15-2				19-2			
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避が間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？						6-14	7-14		9-14					14-14					19-14		21-14	22-14
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15		6-15	7-15	8-15	9-15	10-15		12-15		14-15	15-15		17-15	18-15	19-15	20-15	21-15	22-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1									12-1					17-1			20-1		
			2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？									9-2										19-2			
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？											10-4										21-4	
			7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？		2-7		4-7																		
出会い頭	1	安全確認の必要性を怠ったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所、その必要性が感じられない要素はあるか？				4-5															19-5			
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1			7-1											17-1	18-1		20-1		
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																			19-2			
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭に衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																						
左折時	1	前方車の予測しない左折により、衝突するのでは？ 	6 急な左折を招く要素はあるか？								8-6											19-6			
	2	安全確認しようとしたが、確認できないまま左折し、左折時に衝突するのでは？ 	2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																						

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

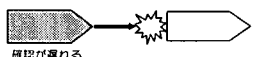
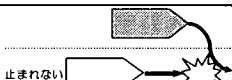
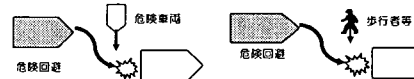
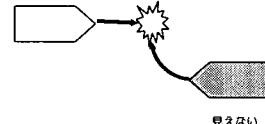
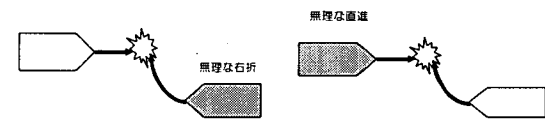
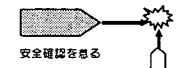
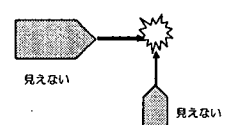
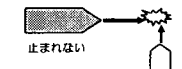
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																				
				交通環境的要因																				
				付属物 構造物	沿道環境						路面状況		信号				渋滞 滞留	その他						
事故類型	発生過程 パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境の チェックポイント	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	40	41	42	43	44
				対向右折車の停止位置が不適切	道路側に基幹物（建物、塀等）が存在する	明るい施設の道路側への建ち並び	運転者の気にする施設が存在する	が車道の付く入りの多い沿道施設出入口や横断路	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	交差点内への沿道施設出入口	朝日・西日等の目眩しのために見にくい	路面状況が劣化している（陥凹、ひび等）	水はけが悪い	信号の設置位置が悪い・見えにくい	通行可能な時間が短い	クリアランス時間が短い	信号表示の運用が理解しづらい（複雑、暗黙）	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	交差点が隣接している	交差点に隣接して路切が存在する	横断歩道がある箇所でも横断歩道がない	二輪車・自転車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停留による通行障害
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対しての視認を妨げる要素はあるか？		24-1																			
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？								30-2			33-2						40-2	41-2			
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避に間に合わず、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？				26-14			29-14		31-14	32-14							40-14	41-14			44-14
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする		23-15	24-15		26-15			29-15	30-15	31-15	32-15	33-15	34-15	35-15	36-15		38-15	40-15	41-15	42-15	43-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？		23-1									33-1					38-1					
			2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？				26-2															42-2	43-2	
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？												34-4									
			7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？														36-7							
出会い頭	1	安全確認の必要性を怠ったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所、その必要性が感じられない要素はあるか？							29-5	30-5			33-5						40-5	41-5			
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？			24-1														38-1				44-1
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？				26-2				30-2			33-2						40-2	41-2		43-2	
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭で衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？													34-4	35-4							
左折時	1	前方車の予期しない左折により、衝突するのでは？ 	6 急な左折を招く要素はあるか？							29-6														
	2	安全確認しようとしたが、確認できないまま左折し、左折時に衝突するのでは？ 	2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？																				43-2	

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																							
				道路的要因											交通環境的要因												
				道路線形				交差点形状					車線・幅員		付属物・構造物												
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境の チェックポイント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
				交差点前の急なカーブ	急な奥い下り勾配	クレスト	交差点手前の長い直線区間	すみ切り半径が大きい	すみ切り半径が小さい	鋭角交差	鈍角交差	交差点形状が複雑	交差点が大きい ため、速度が出やすい	歩行者・自転車の横断距離が長い	右左折車線が2車線以上ある	優先道路側の幅員が狭い	車線幅員が変化する場合 (→直進車線が右左折車線に 変化する)	横断歩道線がある場所 で自転車横断帯が存在	交差点内が暗く歩行者、 駐停車車両が見えにくい	中央帯の幅員等の位置、 管理が悪い	歩道上の幅員帯、歩道等の位置、 管理が悪い	標識・構造物、路面標示の位置、 内容が不適切（不明）	構造物の構造等が存在する	右左折車と直進車が同一車線上に 存在する	右左折車線が右左折車線からみ出る		
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対する視認を妨げる要素 はあるか？	1-1		3-1														17-1	18-1						
			2 注意が散漫になったり、行き幅がな くなる要素はあるか？									9-2						15-2				19-2					
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避が間に合わず、 追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更 の多発を招く要素はあるか？						6-14	7-14		9-14					14-14					19-14		21-14	22-14		
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、 追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素を チェックする	1-15	2-15	3-15	4-15		6-15	7-15		9-15					14-15	15-15		17-15	18-15	19-15	20-15	21-15	22-15		
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素 はあるか？	1-1		3-1														17-1			20-1				
			2 右折ドライバーの注意が散漫になっ たり、行き幅がなくなる要素はある か？									9-2										19-2					
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？																					21-4			
			7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る 要素はあるか？		2-7		4-7																				
出会い頭	1	安全確認の必要性を怠ったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所 で、その必要性が感じられない要素 はあるか？				4-5															19-5					
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあ るか？	1-1		3-1				7-1										17-1	18-1		20-1				
			2 注意が散漫になったり、行き幅がな くなる要素はあるか？									9-2										19-2					
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭で衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り 込みを招く要素はあるか？																								

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																					
				交通環境的要因																					
				付属物 構造物	沿道環境						路面状況		信号					渋滞 滞留	その他						
事故 類型	発生過程 パターン NO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境の チェックポイント	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	40	41	42	43	44	
追突	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 前方車に対する視認を妨げる要素はあるか？		24-1																				
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両の回避に間に合わず、追突するのでは？ 	2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？								30-2			33-2						40-2	41-2				
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？				26-14			29-14		31-14	32-14							40-14	41-14			44-14	
				15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	23-15	24-15		26-15			29-15	30-15	31-15	32-15	33-15	34-15	35-15	36-15		38-15	40-15	41-15	42-15	43-15	44-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 右折ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？	23-1										33-1					38-1						
			2 右折ドライバーの注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？				26-2															42-2	43-2		
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な右折を招く要素はあるか？													34-4									
				7 右折車が対向直進車の挙動を見誤る要素はあるか？														36-7							
出会い頭	1	安全確認の必要性を意識しなかったため、安全確認をせずに出会い頭に衝突するのでは？ 	5 安全確認・停止・徐行が必要な箇所です、その必要性が感じられない要素はあるか？							29-5	30-5			33-5						40-5	41-5				
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 ドライバーの視認を妨げる要素はあるか？		24-1															38-1				44-1	
			2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？				26-2				30-2			33-2							40-2	41-2		43-2	
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭で衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？													34-4	35-4								

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																									
				道路的要因												交通環境的要因													
				道路線形					交差点形状		車線・幅員					付属物・構造物					沿道環境								
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
				急なカーブ	急な、長い下り勾配	クレスト	狭い車線区間	定カント	すみ切り半径が大きい	鋭角交差	車線幅員が狭い	車線数・幅員が急に減少	車線数・幅員が縮小に変化	車線に障害物（電柱、電線、ガードレール等）が設置される（→車道幅員が狭くなる）	車道幅員が左右非対称	車道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している	歩道幅員が不足している
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？								8-14	9-14	10-14	11-14							18-14					22-14	23-14	24-14	25-14
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視界を妨げる要素はあるか？	1-1																			20-1						
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？																										
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15		4-15	5-15			8-15	9-15	10-15	11-15	12-15	13-15	14-15				18-15	19-15	20-15	21-15	22-15	23-15	24-15	25-15	
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を意図しない箇所で、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？																										
	2	安全確認をしようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	1 視界を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1										13-1						19-1	20-1	21-1					
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず衝突したのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？																										
車線逸脱	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや狭幅員区間へ進入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？	1-12		3-12							9-12	10-12		13-12	14-12				18-12								
	4	安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？					5-8																					
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15	5-15			8-15	9-15	10-15	11-15	12-15	13-15	14-15				18-15	19-15	20-15	21-15	22-15	23-15	24-15	25-15	
正面衝突	2	前方の線形を確認できないまま速度超過でカーブ区間へ進入し、安全確認ができないまま、対向車線にはみ出して、正面衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？	1-12		3-12										13-12	14-12				18-12								
		・対向車両の安全が確認できないまま、追い越しのために対向車線にはみ出し、正面衝突するのでは？ ・追い越し時に安全確認ができないまま対向車線に入り、正面衝突するのでは？ 	10 対向車線へはみ出しての追い越し時に安全確認がしにくい要素はないか？	1-10		3-10																	20-10						
		安全確認できないまま追い越し、 	11 はみ出しての追い越しが多発する要素はあるか？													12-11													
	3	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線へ進入したが、正面衝突したのでは？ 	17 対向車の挙動を見誤りやすい状況で、無理な追い越しが発生する要素はあるか？		2-17		4-17																						
	4	車両のコントロールができずに、対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？					5-8																					
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 視界を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1																19-1							
		安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																										
	3		7 対向車の挙動を見誤る要素はあるか？		2-7		4-7																						

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境												
				交通環境的要因												
				沿道環境	路面状況					渋滞・滞留		その他				
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	27	28	29	30	31	34	35	37	40	41	42	43	
				朝日、西日等の日照のため見にくい	等路面舗装が劣化している（磨耗、ひび	水はけが悪い	泥や砂埃の混入	路面凍結	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	本線交通量が多い	自歩転車やが踏多い、およびその周辺での歩行者	横断歩道がある箇所、横断歩道がない	二輪車のすり抜け交差がある	路上駐車やバスの停留による通行障害	
追突	1	前方車の予測しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？						34-14	35-14					43-14	
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	27-1												
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？		28-8	29-8	30-8	31-8								
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15	37-15		41-15		43-15	
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を認識しない箇所で、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？							35-13			41-13		43-13	
	2	安全確認をしようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	27-1						35-1					43-1	
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず衝突したのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？		28-8	29-8	30-8	31-8								
車線逸脱	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや狭幅員区間へ進入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？													
	4	安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？		28-8	29-8	30-8	31-8								
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15	37-15		41-15		43-15	
正面衝突	2	前方の線形を確認できないまま速度超過でカーブ区間へ突入し、安全確認ができないまま、対向車線にはみ出して、正面衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？													
		・対向車両の安全が確認できないまま、追い越しのために対向車線にはみ出し、正面衝突するのでは？ ・追い越し時に安全確認をできないまま対向車線に入り、正面衝突するのでは？ 	10 対向車線へはみ出しの追い越し時に安全確認がしにくい要素はないか？													
		安全確認できないまま追い越しし、 	11 はみ出しの追い越しが多発する要素はあるか？												43-11	
	3	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線へ進入したが、正面衝突したのでは？ 	17 対向車の挙動を見誤りやすい状況で、無理な追い越しが発生する要素はあるか？													
	4	車両のコントロールができずに、対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？		28-8	29-8	30-8	31-8								
右折時	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15	37-15		41-15		43-15	
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	27-1						35-1						
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？						34-4		37-4					
			7 対向車の挙動を見誤る要素はあるか？													

※発生過程パターンN05は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

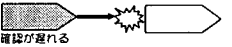
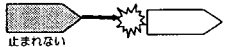
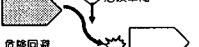
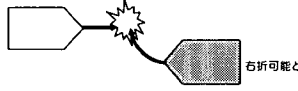
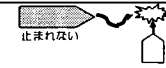
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境														
				交通環境的要因														
				沿道環境			路面状況				渋滞・滞留		その他					
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	27	28	29	30	31	34	35	37	40	41	42	43	
				車道の出入りが多い幅員道路が狭い	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	朝日・西日等の目眩しのため見にくい	路面舗装が劣化している（磨耗、ひび割れ）	水はけが悪い	泥や砂埃の飛散	路面凍結	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	本線交通量が多い	自歩転道やが路肩い、およびその周辺での歩行者、自転車、バイク等	横断施設がある箇所でも横断施設がない	二輪車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停車による通行障害	
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？	24-14	25-14						34-14	35-14					43-14	
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1												
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8								
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15	37-15		41-15	42-15	43-15	
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を意図しない箇所、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？									35-13			41-13		43-13	
	2	安全確認しようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1						35-1					43-1	
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず衝突したのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8								
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1						35-1						
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？								34-4		37-4					
			7 対向車の挙動を見誤る要素はあるか？															
車線逸脱	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや狭幅員区間へ進入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？															
	4	安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8								
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15	37-15		41-15	42-15	43-15	
左折時	1	前方車の予期しない左折により、衝突するのでは？ 	18 本線上で急な左折を行う要素はあるか？		25-18													
	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、左折時に衝突するのでは？ 	2 注意が散漫になったり、行き届かなくなる要素はあるか？													42-2		

※発生過程パターンN051は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																								
				道路的要因										交通環境的要因														
				道路線形					交差点形状		車線・幅員			付属物・構造物							沿道環境							
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23		
				急なカーブ	急な長い下り勾配	クレスト	長い直線区間	逆カーブ	すみ切り半径が大きい	鋭角交差	車線幅員が狭い	車線数・幅員が急に減少	車線数・幅員が増加	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い
				急なカーブ	急な長い下り勾配	クレスト	長い直線区間	逆カーブ	すみ切り半径が大きい	鋭角交差	車線幅員が狭い	車線数・幅員が急に減少	車線数・幅員が増加	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い
				急なカーブ	急な長い下り勾配	クレスト	長い直線区間	逆カーブ	すみ切り半径が大きい	鋭角交差	車線幅員が狭い	車線数・幅員が急に減少	車線数・幅員が増加	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い
				急なカーブ	急な長い下り勾配	クレスト	長い直線区間	逆カーブ	すみ切り半径が大きい	鋭角交差	車線幅員が狭い	車線数・幅員が急に減少	車線数・幅員が増加	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い	車線幅員が狭い
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？								8-14	9-14	10-14	11-14							18-14				22-14	23-14		
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	1-1																			20-1					
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？																									
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15					8-15	9-15	10-15	11-15				16-15		18-15	19-15	20-15		22-15	23-15		
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1																19-1						
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																									
			7 対向車の挙動を見誤る要素はあるか？		2-7		4-7																					
出会い頭	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1													16-1			19-1	20-1					
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭で衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																									
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、出会い頭に衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？																									

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境													
				交通環境的要因													
				沿道環境			路面状況				渋滞・滞留		その他				
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	27	28	29	30	31	34	35	37	40	41	42	43
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？	24-14	25-14						34-14	35-14					43-14
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1											
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15	37-15				43-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1						35-1					
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？								34-4		37-4				
			7 対向車の挙動を見誤る要素はあるか？														
出会い頭	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1											43-1
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭に衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？										37-4				
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、出会い頭に衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																						
				道路的要因										交通環境的要因												
				道路線形					交差点形状		車線・幅員			付属物・構造物							沿道環境					
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
				急なカーブ	急な長い下り勾配	クレスト	長い直線区間	逆カーブ	すみのり半径が大きい	鈍角交差	車線幅員が狭い	車線数・幅員が急に減少	車線数・幅員が徐々に変化	線幅員に適用する（直道車線が右左折車線に適用する）	車が走行し難所（車線）がない区間で、低速	が見えにくい狭く歩行者、駐停車車両、横断	視認性が未設置・不十分（夜間）	中央帯の幅員等の位置、管理が悪い	歩道上の照明・看板等の位置、管理が悪い	中央分離帯が不意に切れている	（横断）の位置、内容が不適切（不明瞭・複	横断等の構造物が存在する	道路際に遮蔽物（建物、塀等）が存在する	明るい施設の道路面への漏れ出し	運転者の視界に障害物が存在する	付属物の出入りが多い沿道施設出入口が取り
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？								8-14	9-14	10-14	11-14						17-14	18-14				22-14	23-14
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	1-1														15-1	16-1				20-1			
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？																							
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15					8-15	9-15	10-15	11-15			15-15	16-15	17-15	18-15	19-15	20-15			22-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1												15-1				19-1				
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																							
			7 対向車の挙動を見誤る要素はあるか？		2-7		4-7																			
変更進路時	5	安全確認の間がなく、進路変更を行い衝突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？																		18-14					
		危険を回避するために車線をはみ出して、歩行者と衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15					8-15	9-15	10-15	11-15			15-15	16-15	17-15	18-15	19-15	20-15			22-15
出会い頭	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1												15-1	16-1			19-1	20-1			
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭に衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？																							
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、出会い頭に衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？																							

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コード〇-15)は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境													
				交通環境的要因													
				沿道環境			路面状況				渋滞・滞留		その他				
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	27	28	29	30	31	34	35	37	40	41	42	43
				車両の出入りが多い路面路が取り付く	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	朝夕、西日等の日照しのため見にくい	路面舗装が劣化している（亀裂、ひび	水はけが悪い	定や砂ぼの堆積	路面凍結	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	本線交通量が多い	自歩転車や踏切、およびその周辺での歩行者・	横断路費がある箇所でも横断施設がない	二輪車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停留による通行障害
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？	24-14	25-14						34-14	35-14					43-14
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1											
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15	37-15				43-15
右折時	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま右折して、右折時に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1						35-1					
	3	安全を確認し、右折できると判断して右折したが、右折時に衝突したのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？								34-4		37-4				
			7 対向車の挙動を見誤る要素はあるか？														
交差点	5	安全確認の間がなく、進路変更を行い衝突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？		25-14												
		危険を回避するために車線をはみ出して、歩行者と衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15	37-15				43-15
出会い頭	2	安全確認しようとしたが、確認が出来ないまま進行して、出会い頭に衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1											43-1
	3	安全確認し、進行できると判断して進行したが出会い頭に衝突するのでは？ 	4 無理な進行や飛び出し、強引な割り込みを招く要素はあるか？										37-4				
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、出会い頭に衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

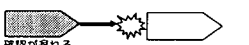
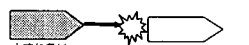
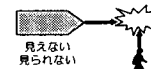
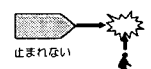
事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																							
				道路的要因										交通環境的要因													
				道路線形					交差点形状		車線・幅員			付属物・構造物					沿道環境								
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
				急なカーブ	急な長い下り勾配	クレスト	長い直線区間	逆カーブ	すみ切り半径が大きい	鋭角交差	車線幅員が狭い	車線数・幅員が急に減少	車線数・幅員が増加	線形に適用する（通過車線が右折車線に適用する）	追いが難しい箇所（車線）がない区間で、低速	が見えにくい歩行者、駐停車車両、線形	視界距離が未設置・不十分（視界）	中央帯の幅員が不十分	歩道上の構造物、電線等の位置、管理が悪い	中央分離帯が不慮に切れている	（視界）の位置、内容が不適切（不明瞭・滑り）	橋脚等の構造物が存在する	道路側に遮断物（建物、塀等）が存在する	明るい施設の道路側への立ち並び	運転者の意にしない施設が存在する	付属物の出入りが多い沿道施設出入口が取り	
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？									8-14	9-14	10-14	11-14							18-14			22-14	23-14	
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視界を妨げる要素はあるか？	1-1																			20-1				
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素があるか？																								
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15	5-15			8-15	9-15	10-15	11-15	12-15	13-15	14-15					18-15	19-15	20-15	21-15	22-15	23-15
車線逸脱	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや狭幅員区間へ進入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？	1-12		3-12							9-12	10-12		13-12	14-12					18-12					
	4	安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素があるか？					5-8																			
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15	5-15			8-15	9-15	10-15	11-15	12-15	13-15	14-15					18-15	19-15	20-15	21-15	22-15	23-15
正面衝突	2	前方の線形を確認できないまま速度超過でカーブ区間へ突入し、安全確認ができないまま、対向車線にはみ出して、正面衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？	1-12		3-12										13-12	14-12					18-12					
		・対向車線の安全が確認できないまま、追い越しのために対向車線にはみ出し、正面衝突するのでは？ ・追い越し時に安全確認をできないまま対向車線に入り、正面衝突するのでは？ 	10 対向車線へはみ出しての追い越し時に安全確認がしにくい要素はないか？	1-10		3-10																	20-10				
		安全確認できないまま追い越し 	11 はみ出しての追い越しが多発する要素はあるか？												12-11												
	3	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線に進入したが、正面衝突したのでは？ 	17 対向車の挙動を見誤りやすい状況で、無理な追い越しが発生する要素はあるか？		2-17		4-17																				
	4	車両のコントロールができずに、対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素があるか？					5-8																			
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15	5-15			8-15	9-15	10-15	11-15	12-15	13-15	14-15					18-15	19-15	20-15	21-15	22-15	23-15
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を意図しない場所で、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？																								
	2	安全確認をしようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	1 視界を妨げる要素はあるか？	1-1		3-1										13-1						19-1	20-1	21-1			
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず衝突したのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素があるか？																								

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コード〇-15）は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境														
				交通環境的要因														
				沿道環境			路面状況				渋滞・滞留		その他					
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	27	28	29	30	31	34	35	37	40	41	42	43	
				車両の出入りが多い横断路が取り付く	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	朝日、西日等の日照しのため見にくい	路面舗装が劣化しているへばり、ひび	水はけが悪い	泥や砂埃の堆積	路面凍結	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	本線交通量が多い	歩道車や路側い、およびその周辺での歩行者	横断施設がある箇所横断施設がない	二輪車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停留による通行障害	
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？	24-14	25-14							34-14	35-14				43-14	
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1												
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8								
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15			41-15		43-15	
車線逸脱	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや狭幅員区間へ進入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？															
	4	安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8								
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15			41-15		43-15	
正面衝突	2	前方の線形を確認できないまま速度超過でカーブ区間へ突入し、安全確認ができないまま、対向車線にはみ出して、正面衝突するのでは？ ・対向車両の安全が確認できないまま、追い越しのために対向車線にはみ出し、正面衝突するのでは？ ・追い越し時に安全確認をできないまま対向車線に入り、正面衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？ 10 対向車線へはみ出している追い越し時に安全確認がしにくい要素はないか？ 11 はみ出している追い越しが多発する要素はあるか？														43-11	
	3	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線に進入したが、正面衝突したのでは？ 	17 対向車の挙動を見誤りやすい状況で、無理な追い越しが発生する要素はあるか？															
	4	車両のコントロールができずに、対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8								
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15			41-15		43-15	
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を意図しない箇所で、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？										35-13		41-13		43-13	
	2	安全確認をしようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1							35-1				43-1	
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず衝突したのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8								

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境																						
				道路的要因										交通環境的要因												
				道路線形					交差点形状		車線・幅員				付属物・構造物					沿道環境						
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
				急なカーブ	急な長い下り勾配	クレスト	長い直線区間	逆カーブ	すみ切り半径が大きい	鈍角交差	車線幅員が狭い	車線数・幅員が急に減少	車線数・幅員が徐々に変化	線形に適合しない（急カーブ・急勾配・急減速・急加速等）	車道が走行し難い（車線）がない区間で、低速	が見えにくい（歩行者、駐停車車両、線形）	視線誘導が未設置・不十分（夜間）	中央帯の幅員等の位置・管理が悪い	歩道上の樹木・看板等の位置・管理が悪い	中央分離帯が不意に切れている	（障害物の位置、内容が不適切（不明瞭・覆い）	橋脚等の構造物が存在する	道路側に遮断物（建物、塀等）が存在する	明るい施設の道路側への立ち並び	運転者の意にしない施設が存在する	付属物の出入りが多い沿道施設出入口が取り
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？									8-14	9-14	10-14	11-14							18-14			22-14	23-14
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	1-1																			20-1			
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？																							
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15	4-15	5-15				8-15	9-15	10-15	11-15	12-15	13-15	14-15				18-15	19-15	20-15	21-15	22-15
正面衝突	2	前方の線形を確認できないまま速度超過でカーブ区間へ突入し、安全確認ができないまま、対向車線にはみ出して、正面衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？	1-12			3-12										13-12	14-12				18-12				
		・対向車両の安全が確認できないまま、追い越しのために対向車線にはみ出し、正面衝突するのでは？ ・追い越し時に安全確認ができないまま対向車線に入り、正面衝突するのでは？ 	10 対向車線へはみ出しての追い越し時に安全確認がしにくい要素はないか？	1-10			3-10																20-10			
	3	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線に進入したが、正面衝突したのでは？ 	11 はみ出しての追い越しが多発する要素はあるか？												12-11											
	4	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線に進入したが、正面衝突したのでは？ 	17 対向車の挙動を見誤りやすい状況で、無理な追越しが発生する要素はあるか？			2-17		4-17																		
	5	車両のコントロールができずに、対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？					5-8																		
車線逸脱	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや換幅員区間へ突入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？	1-12			3-12						9-12	10-12		13-12	14-12					18-12				
		安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？					5-8																		
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	1-15	2-15	3-15		5-15				8-15	9-15	10-15	11-15	12-15	13-15	14-15				18-15	19-15	20-15	21-15	22-15
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を意図しない箇所、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？																							
	2	安全確認しようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？	1-1			3-1										13-1					19-1	20-1	21-1		
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず衝突したのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？																							

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策（要因コードO-15）は他の事故類型を参考にすること。

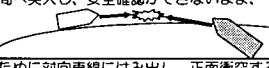
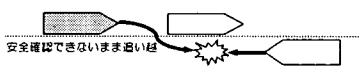
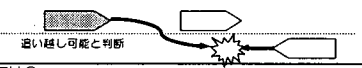
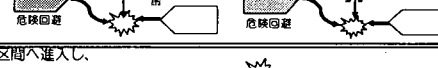
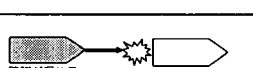
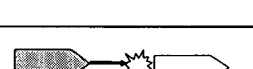
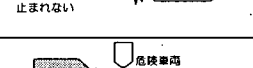
※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境													
				交通環境的要因													
				沿道環境			路面状況				渋滞・滞留		その他				
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	27	28	29	30	31	34	35	37	40	41	42	43
				車両の出入りが多い、幅員が狭い、歩道が取り付く	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	朝日・西日等の日差しのため見にくい	路面状況が劣化している（亀裂、ひび	水はけが悪い	泥や砂埃の堆積	路面凍結	石・土・砂等が本線で滞留・停止	本線が渋滞している	本線交通量が多い	自歩道車やが狭い、およびその周辺での歩行者	横断歩道がある場所、横断歩道がない	二輪車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停留による通行障害
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？	24-14	25-14						34-14	35-14					43-14
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1											
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15			41-15		43-15
正面衝突	2	前方の線形を確認できないまま速度超過でカーブ区間へ突入し、安全確認ができないまま、対向車線にはみ出して、正面衝突するのでは？ ・対向車両の安全が確認できないまま、追い越しのために対向車線にはみ出し、正面衝突するのでは？ ・追い越し時に安全確認をできないまま対向車線に入り、正面衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？ 10 対向車線へはみ出している追い越し時に安全確認がしにくい要素はないか？ 11 はみ出している追い越しが多発する要素はあるか？														
	3	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線に進出したが、正面衝突したのでは？ 	17 対向車の挙動を見誤りやすい状況で、無理な追越しが発生する要素はあるか？														
	4	車両のコントロールができずに、対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15			41-15		43-15
車線逸脱	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや狭路区間へ突入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？														
	4	安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15			41-15		43-15
その他横断中	1	ドライバーが歩行者の横断を認識しない箇所、歩行者が横断し、車両と衝突するのでは？ 	13 歩行者の無理な横断を誘発する要素はあるか？									35-13			41-13		43-13
	2	安全確認をしようとしたが、歩行者を確認できないまま進行して、衝突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1						35-1					43-1
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず衝突したのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

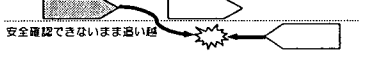
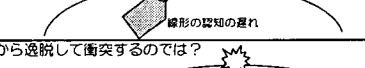
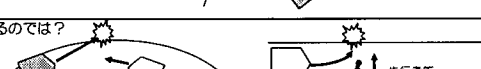
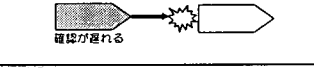
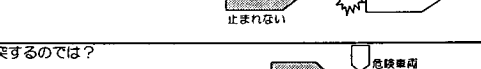
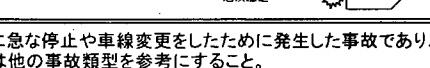
※発生過程: パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

パターン⑬ 単路－山地－２車線以下－歩道なし -資料1-25-

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境													
				交通環境的要因													
				沿道環境			路面状況			渋滞・滞留		その他					
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	27	28	29	30	31	34	35	37	40	41	42	43
				車両の出入りが多い横断路が取り付く	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	朝日、西日等の日差しのため見にくい	路面状況が劣化している（凹凸、ひびき）	水はけが悪い	泥や砂埃の堆積	路面凍結	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	本線交通量が多い	自歩道や路肩、およびその周辺での歩行者・自転車	横断施設がある箇所での横断施設がない	二輪車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停留による通行障害
正面衝突	2	前方の線形を確認できないまま速度超過でカーブ区間へ突入し、安全確認ができないまま、対向車線にはみ出して、正面衝突するのでは？  ・対向車両の安全が確認できないまま、追い越しのために対向車線にはみ出し、正面衝突するのでは？ ・追い越し時に安全確認をできないまま対向車線に入り、正面衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？ 10 対向車線へはみ出しての追い越し時に安全確認がしにくい要素はないか？ 11 はみ出しての追い越しが多発する要素はあるか？														
	3	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線に進入したが、正面衝突したのでは？ 	17 対向車の挙動を見誤りやすい状況で、無理な追越しが発生する要素はあるか？														
	4	車両のコントロールができずに、対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15					43-15
	車線逸脱	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや狭路区間へ突入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？													
4		安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
5		危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15					43-15
追突	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？	24-14	25-14						34-14	35-14					43-14
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1											
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15					43-15

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。

※事故を誘発する道路環境に事故要因が記載されているものの、その下の欄が全て空欄となっている列がある。これは今後のデータ蓄積や本書の利用者のご意見等により、内容を充実させるために設けている。

事故に至る過程				事故を誘発する道路環境													
				交通環境的要因													
				沿道環境			路面状況				渋滞・滞留		その他				
事故類型	発生過程パターンNO	事故の発生状況	事故を誘発する道路環境のチェックポイント	24	25	27	28	29	30	31	34	35	37	40	41	42	43
				車両の出入りが多い横断路が取り付く	沿道施設出入口や横断路が不明瞭	朝日・西日等の日差しのため見にくい	手すり・路面舗装が劣化しているへ横ばれ・ひび	水はけが悪い	泥や砂埃の堆積	路面凍結	右左折車両が本線で減速・停止	本線が渋滞している	本線交通量が多い	自歩転車やが踏切が多い・およびその周辺での歩行者	横断歩道がある箇所でも横断歩道がない	二輪車のすり抜け交通がある	路上駐車やバスの停留による通行障害
正面衝突	2	前方の線形を確認できないまま速度超過でカーブ区間へ突入し、安全確認ができないまま、対向車線にはみ出して、正面衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？														
		・対向車両の安全が確認できないまま、追い越しのために対向車線にはみ出し、正面衝突するのでは？ ・追い越し時に安全確認をできないまま対向車線に入り、正面衝突するのでは？ 	10 対向車線へはみ出しての追い越し時に安全確認がしにくい要素はないか？														
		安全確認できないまま追い越し 	11 はみ出しての追い越しが多発する要素はあるか？														43-11
	3	安全を確認し追い越し可能と判断して、対向車線に進入したが、正面衝突したのでは？ 	17 対向車の挙動を見誤りやすい状況で、無理な追い越しが発生する要素はあるか？														
	4	車両のコントロールができずに、対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
車線逸脱	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、正面衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15					43-15
	2	前方の線形を確認できないまま、速度超過でカーブや狭幅員区間へ突入し、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	12 線形が把握しにくくなる要素はあるか？														
	4	安全確認し判断・行動を行ったが車両のコントロールができず、車線から逸脱して衝突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
追突	5	危険を回避するために対向車線へはみ出し、衝突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15					43-15
	1	前方車の予期しない停止・減速・車線変更等により、追突するのでは？ 	14 本線上で急な停止・減速・車線変更の多発を招く要素はあるか？	24-14	25-14						34-14	35-14					43-14
	2	前方車の確認が遅れ、追突するのでは？ 	1 視認を妨げる要素はあるか？			27-1											
	4	安全確認し判断・行動を行ったが、車両のコントロールができず、追突するのでは？ 	8 車両の制御不能を誘発する要素はあるか？				28-8	29-8	30-8	31-8							
	5	危険を回避するために急な停止や車線変更をし、追突するのでは？ 	15 回避した事故類型を誘発する要素をチェックする	24-15	25-15	27-15	28-15	29-15	30-15	31-15	34-15	35-15					43-15

※発生過程パターンNO5は、危険を回避するために急な停止や車線変更をしたために発生した事故であり、事故要因の推測が困難である。このため、対策(要因コードO-15)は他の事故類型を参考にすること。